

～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

◆VCN°58 ケヴィン・デコンブ

生産地方：ボジョレー

新着ワイン2種類♪

AC ボジョレー キュヴェ・ケケ 2016 (赤)

2016年は、ケヴィン曰く2014年のように果実味がチャーミングなボジョレーらしいワインが出来上がったとのこと！厳しいミレジムの中、ケケ用のブドウ畑は唯一雹の被害を免れ、収量も40 hL/haと比較的しっかりと確保できている。ワインは、初めの開けたては香りが控えめだが、しばらくするとジュニパーベリーのような涼しい香りが上がってくる。味わいも、品良く熟した赤い果実の中に洗練されたミネラルがきれいに溶け込んでいて、とてもエレガントに仕上がっている！ちなみに、キュヴェ・ケケのエチケットは2017年ヴィンテージから新しいデザインに変更される予定だ！

AC モルゴン ヴィエーユ・ヴィーニュ 2015 (赤)

2015年は天候に恵まれた当たり年！ケヴィン曰く、暑い年だったので、ブドウが完熟しすぎて酸が落ちてしまわないよう、いつも以上に収穫日を意識したとのこと。今回のヴィエーユ・ヴィーニュは、ローヌのワインのような力強さとフィネスが一体となった高級感あふれる味わいに仕上がっている！圧巻は凝縮した果実味がとても柔らかいこと！ピロードのようにワインの質感が滑らかで全く飲み疲れしない！ケヴィンの真面目なつくりの姿勢全てがこのヴィエーユ・ヴィーニュに集約されている！

ミレジム情報 当主「ケヴィン・デコンブ」のコメント

2015年は、2005年や2009年に次ぐ日照量に恵まれた年だった！春は晴れ間が多く、開花も10日ほど早い幸先の良いスタートだった。開花後はほとんど雨が降らず天気は乾燥していたが、冬に多く降った雨のおかげでブドウは健全な状態を保っていた。だが、7月に入ると乾燥に加え猛暑が連日続き、冬に地中に溜め込んだ雨のストックもさすがになくなりかけてきた。8月に入っても日照りはさらに続き、暑さの影響でブドウの成長も一時ストップ。ブドウの実は小さく収量減が心配されたが、8月15日に30mmほどの雨が降ってくれたおかげで、バテ気味だったブドウが再び息を吹き返し、最終的には、選果の必要のない凝縮した中身の濃いブドウが収穫できた！

2016年は、前半の天候がとても厳しかったが、後半徐々に回復し、最終的に質の高いワインが出来上がった年だった！春はスタートから気温の上がらない雨の多い悪天候が続いた。4月27日の早朝気温が一気に下がり霜のリスクがあったが、マイナスを切ることなく、ぎりぎり難を逃れることができた。だが、この安定しない天候の影響でブドウの成長サイクルは例年よりも2～3週間遅れた。開花はまちまちで、標高の高いモルゴンは花ぶるいによる結実不良が多く見られた。その後5月27日と6月24日に2回に渡りモルゴン周辺を雹がおそい、ボジョレーはルートから外れて問題なかったが、モルゴンは3割被害にあってしまった。その後も7月中旬まで天気が悪く、ミルデューが猛威を振るい始めた。7月終わりに天候は回復。だが、今度は40度を超える猛暑など天候の差の大きさにブドウはかなりストレスを抱えていた。9月に入ると天気は安定し、ブドウの成熟も遅れを取り戻し、最終的にはきれいなブドウを収穫することができた！

「ヨシ」のつ・ぶ・や・き



写真① 熟成カーヴ

これはケヴィンが現在使っている熟成カーヴの写真(写真①)。カーヴはやや半地下になっている。だが、彼の立つ後ろの光の刺す通気口を見ても分かるように、完全に外気がシャットアウトされている訳ではないので、カーヴ内の温度は5℃~20℃と、夏と冬で15℃くらいの寒暖の差があるようだ。この樽で熟成されているワインはヴィエーユ・ヴィーニュの2016年。本来、例年通り収量が取れていれば2段目も樽でびっしり埋まっているのだが、今回は雹の影響で収量が半減…。上にいくつか乗っている樽も実際は空で、一段目しかワインは入っていない…。ケヴィン曰く、2016年は今までのヴィエーユ・ヴィーニュのイメージが180度転換するほどエレガントに仕上がったとのこと！これが今熟成中の2016

年ヴィエーユ・ヴィーニュ！（写真②）確かに今までに比べると明らかに色が明るい！色だけ見ると一瞬ヌーボーかと思ってしまうような透明感だ！香りを嗅ぐと…ん!?これって本当にガメイ??フレッドのピノに良くあるグロゼイユやシャクヤク、オレンジピールの華やかな香りがバンバン上がる！ちなみに、ケヴィン曰く、フレッドが彼の2015年と2016年を試飲した時の感想は、2015年がジュヴレ・シャンベルタンで、2016年はシャンポール・ミュジニーと絶賛したそうだ！今回リリースする2015年は、まさに今までのケヴィンのヴィエーユ・ヴィーニュの王道を貫く男性的かつ重厚で飲みごたえのあるスタイルに仕上がっているが、2016年はそのスタイルとは全く逆の艶やかで女性的なワインに仕上がりそうな感じだ！「2016年は確かにミレジムの影響も大きいですが、一方でフレッドのワインの仕込みが4年目にしよやく板についたという実感がある！」とケヴィンも満足な手ごたえを感じている様子だった♪



写真② グラスの中はモルゴン V.V. 2016



写真③ NEW エチケット2種

次に、これは次回新しく変わるエチケットのデザインの写真(写真③)。左はキュヴェ・ケケで右はキュヴェ・ヴィエーユ・ヴィーニュだ。ヴィエーユ・ヴィーニュは今までのクラシックなイメージは変えず、ロゴの背景にモルゴンの丘を描き加えている。一方、キュヴェ・ケケは完全にイメージを一新！ちなみに、デザインはケヴィンの友人が手掛けたそうだが、イメージ自体に何も意味は持たないそうだが、今までのケケのエチケットよりも、ワインのスタイルとデザインが一致している感があり、個人的には今まで以上に好感度アップ！エチケットの刷新といい、また2016年のヴィエーユ・ヴィーニュといい、ケヴィンは絶賛進化中だ！

(2017.11.23.ドメーヌ突撃訪問より)